

特定非営利活動法人「縁塾」共催
夏のオープンエンリッチプロジェクト

学校の中だけでは学べないことを
本気の大人と学ぼう

本年度の「夏のオープンエンリッチ」では19の講座を実施することになった。映画を通じて世界や地域の問題を考える講座、地域防災、職業に直結した講座、SDGs、高校生の人気が高い本校卒業生の大学生による講座など多様な講座が用意された。会場は主に可児市創造文化センターアラーヤ、社会福祉法人村の木清福会「ひろみ保育園」などをお借りして実施した。普段の教室を飛び出し、地域に飛び込むことで普段とは違った雰囲気や学びに没頭できる環境づくりがその狙いである。下記は縁塾より配布された本年度の「夏のオープンエンリッチ」のチラシである。



以下、各講座の詳細と本校「エンリッチコアメンバー」からの感想、そして各講座に参加した生徒の感想を掲載する。普段、教室では学べない内容を学び、学校での学び・進路希望に繋げている生徒も増えつつある様子を読み取っていただければ幸いです。

ドキュメンタリー映画を通じて「世界」を知る
[1]映画「ソニーータ」

「沈黙のかわりに私は叫ぶ。」絶望の淵に立たされたとき、諦めない少女の歌は奇跡を引き寄せる。ドキュメンタリー映画「ソニーータ」をみんなで観よう！

#世界 #ドキュメンタリー映画 #平等

協力 NPO 法人縁塾
日時 8月17日(土)
13:00-15:30
場所 可児市文化創造センター ala
コアメンバー担当者:
岡田菜々子・村瀬美乃里

参加者の声

この講座では差別について学びました。特に女性差別について学びました。映画ではイラクの女性は勝手に結婚相手を決められてしまう事がわかりました。そのようなことをなくすためには、まず誰かに相談したり少しでも力になってくれる人を探すことだと思います。アファニスタンやイランでは貧困や宗教によって、女性の権利がないことが問題である。その解決のためには世界にこの現状を知らせ、その地域社会に女性の人権を取り戻すための働きかけをする必要がある。

担当者の振り返りから
会終了後、運営スタッフで話し合われた。今回、特定の宗教に関わるため、イスラム教に対する理解が一方的になる恐れもあり、宗教的に中立・公平な視点で話し合う必要があるように感じた。



「2」映画「いただきます」

「まず、子どもを幸福にしよう。すべては、その後が続く。」笑って泣いてほっこり元気をもらう子育てエンターテイメント・ドキュメンタリー映画をみんなで観よう！

世界 # ドキュメンタリー映画 # 平等

協力 村の木清福会様
 日時 8月17日(土)
 13:00-15:15
 場所 ひろみ保育園すくすく
 コアメンバー担当者:
 山田菜弥・西村彩希・河村日菜子



SDGs No.



特徴的な給食を提供している保育園に密着した映画でしたが、自分が親になった時に何ができるかを考えるきっかけになりました。和食が体に良いことは知っていても、実際にどう良いのかわかっていませんでした。和食を食べることによって子どものアレルギーが改善されたのを知り、本当に食生活が体調に影響するのかと、驚きました。食生活というのは、大人になってから急に気を付けようとしても、そう簡単に変えることはできません。やはり、幼少期からの食育で正しい食生活を身につけることが大切だと思います。だから、高取保育園のような、食べることはもちろん、「作る側」も体験する給食を普及させていけば、SDGsにもある未来の人々の「健康」につながるのではないかと、思いました。でも一番大切なことは保育園選びではなく、自分が親になった時、子供に伝承できるような正しい食生活を、今から意識していくことだと考えるようになりました。

(当時参加者・現コアメンバー 小林真優)

「3」タイムラインを考える

毎年各地で集中豪雨による様々な被害が発生しています。2010年7月15日の可児川豪雨災害などをもう一度思い起こし、大雨の時の行動を考えてみませんか？

豪雨のときの行動
 # 気象用語を学ぶ

協力 可児市防災の会様
 日時 7月19日(金)
 13:00-15:30
 場所 可児市広見地区センター
 エンリッチコアメンバー担当者:
 高井 菖汰



SDGs No.



動画を見た後、グループでの話し合い、そして、与えられた役になって、その人の目線で防災について考えるワークを体験した。地域の方がグループに入り意見を言うてもらったことで自分では思いつかない意見も知ることができた。最後にグループでの意見をまとめて全体の前で発表する機会があった。みんな意見を出し合って討論ができた。結果的に参加者全員が意見を言わざるを得ないようになっていて、自分で意見を持ち、発表する機会を全員が経験することは、主体性を持たないといけないので良いと思った。空想上の町をもとに危険な場所などを話した後に、可児高の周りの地区や自分が住む地区に活用して考える時間があるといいと思ったので、次年度に向けて防災委員とコラボしてそういう企画をしても良いのではないかと考えた。

(当時参加者・現コアメンバー 久野倫太)



事前学習のインタビュー練習から、良い点・改善点を丁寧に指導をいただき、当日は音楽イベントでのインタビューをしました。自分から積極的に動いてインタビューに行き、後輩と一緒にチームで声を掛けて協力し、人との話し方の勉強になりました。「誰に、どのタイミングで、どのように話しかけ、何を質問し、反応を考え、会話の内容をどうにまとめるか」インタビュー中に考えました。毎回、「こうすれば良かった、でもこれではできた」と改善することができました。今回のインタビューの記録が来年のイベントの参考になるように考えて質問をしました。街を住民自身の手で盛り上げるためには、自分の好きなことだけでなく、その街の特産品や伝統等と組み合わせることも大切だと思います。更に、誰もが楽しめるような工夫も必要です。今後このような課題を引き継ぎ、来年参加する後輩たちにも「もっといいイベントにしよう」と思って参加してもらえればいいと思います。

(当時参加者・現コアメンバー 平田 万葉)

ROCK FILL JAM@可児市文化創造センター ala

[4]地元音楽フェスの運営を体験しよう

「音楽やマルシェが好き!」「このまちで
たのしいことがしたい!」そんな大人たちと一緒に可児市の音楽フェス「ROCK FILL JAM」の運営体験をしてみよう!

#音楽フェス #町おこし
#運営体験

協力 NPO 法人縁塾

日時 7月20日(土) 午前 打ち合わせ
8月4日(日) 終日 当日

場所 可児市文化創造センター ala
エンリッチコアメンバー担当者
平田万葉



SDGs No.



医療介護の専門職になった時に目の前の人に何ができるのか、何がしたいのかを考えるために実際の症例について医療介護の専門職を交えてディスカッションを行います。

#医療 #介護

協力 片桐辰徳様

日時 7月27日(土) 10:00-12:30

場所 錬成館2Fミーティングルーム

エンリッチコアメンバー担当者:

高井 菖汰



SDGs No.



キャリア教育系統講座

[5]医療介護に興味のある人集まれ!

残念ながら、この日は台風で中止になりました。コアメンバーの高井君は雨の中、会場まで駆けつけたものの、無念の解散命令を出す他ない状況でした。しかし、この中止がきっかけになり、冬のエンリッチ・スピノフを開催し、薬剤師2名の方から医療現場の現場を聞く講座を企画することになったのでした。夏場に開催する以上、台風や豪雨で中止する可能性があり、延期が困難であるため致し方ないものの、医療系に進む希望を持つ生徒が多いため、次年度に向けて講座数を増やすなどの工夫が必要だと痛感した出来事であった。

担当者から一言

「台風で中止でした。自転車で行ったのにな、」

(コアメンバー担当者 高井 菖汰)

[6]絵本の読み聞かせボランティア体験

絵本の読み聞かせのやり方をプロから学びます。そして学んだことを生かして月1回開催されている読み聞かせ教室でボランティア体験をやってみましょう！

絵本の読み聞かせ #子育て
ボランティア

協力 安藤龍子様（読み聞かせボランティア）

日時 8月10日（土）

13：00-15：00

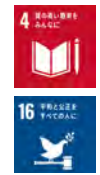
場所 可児市立図書館

エンリッチコアメンバー担当者：

山田茉弥



SDGs No.



今回、「読み聞かせ」の深い意義を学ぶことが出来ました。読み聞かせとは子どもが絵や日本語の響きを楽しみながら言葉や話し方を学ぶ機会であり、親や周りの大人が子どものために本を読むことでお互いの愛情を深める場でもあるのです。その頃に感じた愛情は大人になっても心に残るそうです。改めて意識して考えると、普段、授業で行う朗読や音読とは違い、読み聞かせには大切な役割があると気付きました。理論的な解説を聞いた後で、自分で読む本を選び、読み聞かせの実践をしました。やや横向きに座り、子供が絵を楽しめるように見せ、本の面は垂直か少し下に向ける等、読み聞かせの際の姿勢だけでも気をつける点が多々ありました。登場人物を読み分けるのも大変で、緊張もしました。面識のない子ども達に楽しんでもらえるような読み聞かせが出来るようになるには、経験と工夫が必要です。この読み聞かせの講座はとてもいい経験になりました。今後、ボランティアの機会があれば進んで参加したいと思います。（コアメンバー担当 山田 茉弥）

[7]小規模保育で保育士体験をしよう

可児市の小規模認可保育園「スマイルネスト」で保育体験をして子育てについて考えよう！

子供 # 地域企業
働くことを考える

協力 株式会社中部保育 服部嶽志様

時間 10：00-11：30

場所スマイルネスト各保育園

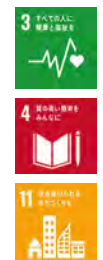
8月6日今渡保育園

8月7日広見東保育園

8月8日パロー広見保育園



SDGs No.



- 参加生徒より▽
- ・ 児童虐待が起きていることを学び、その防止には周囲の大人に悩みを打ち明けられる環境をつくるのが1番大切だと思いました。
 - ・ 保育園は無認可の所が多くあることを学んだ。そのような保育園は国がしっかりと管理していくべきだと思った。
 - ・ 待機児童がまだいることを初めて知った。小さな保育所でもいいので子供を預けられる場所を作るべきだ。
 - ・ 幼稚園に通おうと思ってもなかなか通わせられない保護者が多い事を知った。もっと幼稚園や、保育園を作るべきである。



楽しく今話題のSDGsを学びましょう！
[8] カードゲームでSDGs！

SDGs カードゲームは大学生が中心となって開発されました。彼らは開発を通じてSDGsを学び、SDGsを普及することで世界の学生とつながりました。

#The SDGs Action Cardgame
 #X(クロス)
 #Think globally, act locally.

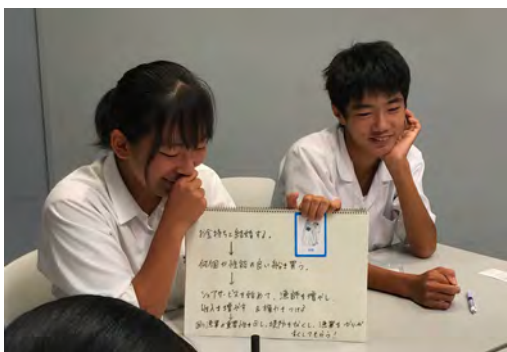
協力 一般社団法人SDL 代表理事 柿元章吾様
 日時 8月21日(水) 10:00-12:30
 場所 可児市文化創造センター ala
 エンリッチコアメンバー担当者
 松本優奈、山田茉弥、松下萌唯

SDGs No.



世界193カ国がSDGs実現に向けて動いており、日本企業もSDGsの実現に向けて行動している。反面、個人単位の認知度が低い。その解決のために作られたのがSDGsカードゲームだ。日常生活で起こりそうな問題を、クリエイティブな思考を使って解決する。優れていた点は、楽しくSDGsを知れ、ゲームを行いながら、SDGsの17の目標を達成できることだ。SDGsは、2030年までに達成することが目標とされている。まずは、個人の意識が変わらないことには、世界を変えることは難しい。そのため、SDGsカードを使い、今、世界を創っている世代も、将来の担い手となる世代にも知ってもらい、国際問題解決への意識を高める必要があると感じた。

(コアメンバー担当 松下萌唯)



同世代の、同じ地区に住む外国人と語ろう
[9] 高校生多文化カタリバ交流会

急激な人口減少、外国人との共生が全国的な課題になる中、一番身近な国際化である「自分の町の国際化」を違った背景を持った同世代同士で議論することで「国際化」を体感しませんか？

#多文化共生 #地域課題
 #外国語

協力 可児市国際交流協会様
 日時 8月21日(水) 10:00-12:00
 場所 可児市国際交流協会フレビア
 エンリッチコアメンバー担当者：
 村瀬美乃里・藤原祈従

SDGs No.



今回司会として参加して、言葉が通じない外国人と交流する大変さと楽しさを感じた。さつき教室にはブラジル人やフィリピン人や中国人がいる。英語が通じる人もいれば、母国語しか話せない人もいる。その状況の中で、彼らとどうコミュニケーションをとるか、可児高校生は悩んだ。自己紹介やアイスブレイクを通じて、各グループで工夫があった。例えばジェスチャーや簡単な英語で会話したり、ポケットクという翻訳の機械でコミュニケーションをとりながらさつき教室の生徒さんの日本語プレゼンテーションの手伝いをした。最後はそれぞれの将来の夢を日本語で上手に発表することができた。グループ発表の後は、みんな笑っていて楽しそうでした。確かに言葉の壁はあるが、コミュニケーションをとる方法は言葉だけではないことが改めてわかった。今後、海外から移住する人は増えると思うので、あらゆる方法で、情報をわかりやすく彼らとコミュニケーションをとる方法を考えていきたい。

(担当コアメンバー 村瀬美乃里)

「災害時弱者」にやさしい社会をつくろう

【10】「やさしいほんご」で災害を伝えよう！

災害時弱者になると言われている「外国人住民」に焦点を当て、自分たちの住む街を見直すことで防災意識を高め、誰にとっても住みやすい街について考えてみませんか？

多文化共生 # 防災
やさしいほんご

協力：多文化演劇ユニット MICHI 山田 久子様、
可児市国際交流協会の各務 真弓様
日時 8月4日（日）12:30-14:30
場所 可児市国際交流協会フレビア
エンリッチコメンター担当者：
村瀬美乃里・藤原祈従



外国人住民の方々は災害について学んだり、災害に対する備えをする防災に馴染みがありません。そのため、災害時にどのような危険があるのか、どのように命を守るのか分からないことが多いそうです。普段、あまり接することのない外国人住民の方々に日常生活で使うことのない「洪水」や「土砂崩れ」などの災害用語を「やさしいほんご」で言葉の意味や危険性について伝えました。「やさしいほんご」とは、熟語や専門用語ではなく日常生活で使う平易な日本語で具体的な行動を示すことなどに配慮した日本語を指します。当初は難しく伝わらないのではと不安でしたが、実際にやってみると思っているよりも難しくありませんでした。難しいと勝手に決めてつけて何もしないのではなく、少しでも出来ることを考えて挑戦することが大切だと思えました。これから、外国人住民や観光客は増えていくと思うので、出来ないと思ってしまうのではなく、積極的に関わっていくことが大切だと思いました。
(担当コメンター 藤原 祈従)

議論を円滑に進めるスキルを習得しよう

【11】ファシリテーションを学ぼう〜入門編〜

ファシリテーションの考え方やスキルを楽しく学びます。1人ひとりの意見を大切にしながら、みんなの納得や新しいアイデアが生まれる「対話の場」を作る人になる

対話の場作り # 多様性

協力 角野仁美様 (NPO 法人縁塾・
NPO みらいず works 理事・本校 OG)
日時 8月16日（土）14:00-16:00
場所 可児市文化創造センター ala
エンリッチコメンター担当者：
山田茉弥・岡田菜々子・
松下萌唯・村瀬美乃里・井口 沙也妃



昨年の高校生議会でファシリテーターに挑戦し、その難しさを実感し、参加しました。講師の角野さんが「ファシリテーションは仕切るのではなくその場の対話や意見交流が円滑に行われるように働きかけること」と言われ、司会としてまとめる役割だとばかり思っていたファシリテーションのイメージが変わりました。ファシリテーションの力を養う第一歩として四人グループで一つのテーマについて話し合いました。決められた時間の中で途切れずに相手の意見を聞き出すことや、その意見に自分の勝手な解釈を入れず率直にまとめて書き出すことの難しさを改めて感じました。事務的な会議だけでなく普段のグループワーク等にも活かしていけるスキルを学べる良い体験ができました。
(コメンター担当 山田 茉弥)



外国人技能実習生の方々から働く意味を学ぶ
12] 何の為に働くのか？

日本で働くフィリピンの方にインタビューをします。日本とフィリピンの課題を見つけ、働くとはなんなのか？をみんなで考えよう！

海外 # セブ島 # 勤労観

協力 (株) ファミリーカーショップ
 代表取締役社長 吉田 正 様
 日時 8月1日 (木) 15:00-17:00
 場所 ファミリーカーショップ
 エンリッチコアメンバー担当者
 藤原祈従・村瀬美乃里・松下萌唯

ファミリーカーショップで働くフィリピン人技能実習生の皆さんに話を伺い、働く意味を考えました。普段、外国人の話聞くことがないため、貴重な体験が出来たと自分でも思いました。外国人労働者のこと、社会のことなど今まで考えたこともないでしたが、地域のこういった課題に興味を持ち始め、とてもいい経験になったし自分が成長したと思えました。フィリピンの方々は「家族のため働きたい」と思って、日本に出稼ぎに来ていています。日本で働くため、3ヶ月という非常に短期間で日本語を学んで来日しています。自分もフィリピンの方に負けない意識を持って、学業に励みたいと思えました。来年は自分もセブ島に行ってみたいと思います。
 (当時参加者・現コアメンバー 三好 雄大)



SDGs No.



一番身近な地域課題に取り組みエキスパートに聞く
13] 子ども食堂

「みんなで食べるご飯はおいしいね」そんな思いから、ふしみ子ども食堂の活動は始まりました。「食」を通して多世代交流の場と地域のつながりを大切にしたい場所作り活動です。

子ども食堂 # ボランティア # 地域

協力 ふしみ子ども食堂代表
 平井 高子 様
 日時 8月20日 (火) 10:00-12:00
 場所 ゆずりは
 エンリッチコアメンバー担当者
 河井理亜・松本優奈

参加生徒より
 ・『こ』食について考えることができた。自分にとつての当たり前が他の人にとつても同じだと考えないこと。困っている人困っていない人関係なしに様々な人と交流すること。
 ・ライフラインが止まってしまった家や、ご飯を作って貰えない子供がいたりすることがわかったので、子ども食堂をもっとたくさん作って方が良くと思いました。



・地域の人との繋がりがなくなってきた中、子ども食堂のように異年齢交流を食事などを通して深めていくことが大事で、孤食が多く、無くすために、みんなで集まることのできる居場所を確保すべきだと思った。



SDGs No.



微生物で世界をきれいに！

[14] 世界中で活躍する微生物の最前線を知ろう！

可児市とも縁の深い日本生まれの微生物技術が、今、世界で活躍しています。タイ王国で環境負荷を与えないエビ養殖事業や可児市で行われている資源循環活動を紹介します。

微生物 # グローバル # 理系

協力 株式会社 EM 生活

秋山 博史 様

日時 8月16日 (金) 10:00-12:00

場所 可児市文化創造センター ala

エンリッチコアメンバー担当者

村瀬美乃里・松下萌唯・西村彩希

普段、食卓に並ぶエビの90%が輸入で、その輸入先は発展途上国で、そこではマングローブ林を伐採し、エビの養殖場をつくる。養殖場では餌と共に抗生物質をまく。抗生物質が土壌に蓄積し、土地は痩せる。養殖業者は10年以内に、新しいマングローブ林を伐採する。これが原因で発展途上国の半分以上のマングローブ林が失われ、環境破壊の原因になっている。このため、抗生物質不使用の環境に優しいエビの養殖方法が考えられた。それは、『EM』という微生物を使うというものだ。『EM』とは有機物を分解する微生物を指す。『EM』を使った養殖エビは、病気にも強く、丸々として美味しくそうなエビができ、環境にも優しい養殖方法だ。『EM』

は私たちの身の回りでも使用できる。その利点は、ヘドロの分解・川の浄化、部屋の消臭、生ゴミの肥料への転換もできる。「微生物」という、見えない力がこんなにも役に立つことをこの講義を通して知ることができた。これから、普段の生活にも色々な形で、微生物を取り入れて行きたい。

(コアメンバー担当 松下萌唯)



SDGs No.



キャリア教育系統

[15] 保育園就職フェアを体験してみよう

可児・多治見・土岐の保育園が集まる就職フェアに参加して、保育園の園長先生の話や社会人1年目の保育士の話聞いて、自分のキャリア設計につなげよう！

対話の場作り # 多様性

協力 角野仁美様 (NPO 法人縁塾・

NPO みらいず works 理事・本校 OG)

日時 8月16日 (土) 14:00-16:00

場所 可児市文化創造センター ala

エンリッチコアメンバー担当者：

山田茉弥・岡田菜々子・

松下萌唯・村瀬美乃里・井口 沙也妃

△ 参加生徒より▽

・この地域（土岐、多治見、可児）の課題は待機児童がいるということでした。これを解決するために、就職フェアを行っていることが分かった。

・待機児童をへらすためには、親が働きやすいよう子供を預ける場所をたくさん作らなければいけない。それぞれの保育所で働く保育士が、まだまだ必要だということ初めて知った。

・(SDGsとの関連を踏まえて) 3の「すべての人に健康と福祉を」と、「11の住み続けられるまちづくりを」に、関連が見出せたと思う。子供が健康に平等に生きられるようにどうすればいいか考えることが出来た。



SDGs No.



私達は日々『選択』をしながら生活しています。そんな『選択』の本質について考える機会をくれました。まず、4人1組で意見交流をし、講師である田口さんのお話を聞きました。会が進むに連れ、次第に『選ぶ』という事の本質が明らかになってきました。それは、選べるという事自体が大切であり、選択に正解はないということ。そして、それに関わる人がより納得する選択をするためには、選択肢についてより多くの情報を集めることが重要だということです。まだ自身の進路を決定できていない私達高校生にとって、これらの事は今後の私達に深く関わって来ると思います。私達可児高生には、重要な選択を迫られる時がこれからたくさんあります。その一回一回でより後悔の少ない選択をするために、今日の講座で学んだことを生かしていきたいです。

(コアメンバー担当者 井口 沙也妃)



皆さんにとって「選ぶ」ことは簡単ですか？今までの人生を振り返っても今後の人生を考えても、選択の連続だと思いませんか？そんな身近な「選択」の本質的な意味について一緒に考えてみよう！

#SDGs #「選ぶ」とは？
#文理選択 #大学選び #文理選択

協力 立命館大学法学部 田口 裕斗
日時 8月19日(月) 10:00-12:00
場所 可児市文化創造センター ala
エンリッチコアメンバー担当者
井口 沙也妃



SDGs No.

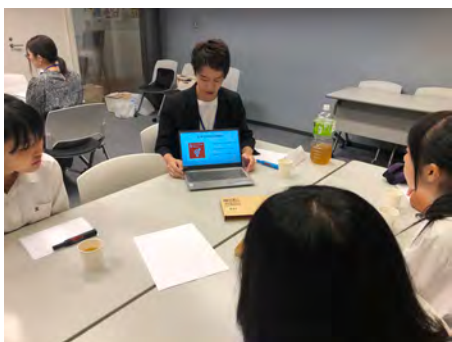


[16] 「選ぶ」って何だろう？

本校卒業生に学ぶ①

大学生の方から自分の学んでいることをSDGsに絡めて話していただいた。学科の関係もあり、SOGI (Sexual Orientation and Gender Identity) の方への偏見をなくそうという話題も上がった。大学生への質問タイムで、多くの生徒が「どうしてその学科・学部を選んだのか？」という質問が挙げられた。大学生からは「先生に勧められて」、「エンリッチコアメンバーの活動で見つけた」と答えをいただいた。他にも苦手な教科の勉強の仕方や、一人暮らしについての質問が挙がった。この企画で、私も話を聞いていただいき、「頑張る人のために頑張れる管理栄養士になりたい」という自分の夢に自信がいった。エンリッチコアメンバーの活動は地域の人と関わられるだけでなく、自分の可能性を広げてくれるのだと改めて感じた。

(コアメンバー担当・松本 優奈)



「自分の将来について少し考えられる時間がほしい」そんな願いを叶えたいと思う大学生が企画した「雑談カフェ」高校生活の悩み、自分の進路への悩み、不安に思うこと・・・話したいことがある可児高生が集まった。

#大学生生活 #SDGs #進路

協力 林海斗(創価大)、林万葉(静岡大学) 高橋莉奈(藤田医科大)、佐藤俊介(岐阜聖徳大)
日時 8月17日(土) 10:00-12:00
場所 可児市文化創造センター ala
エンリッチコアメンバー担当者
松本優奈



SDGs No.



[17] ゆる〜く話そう。雑談カフェ

ゆる〜く話そう。

本校卒業生に学ぶ②
18 ドリンクチェーン店から未来を考える

社会問題についてどう思いますか？遠い存在って思っていない？そんなみんなに送るのがこのプログラム。某ドリンクチェーン点を題材にいろんな社会問題についてシリ、考えてみよう。

社会問題 # 地球環境問題
 # 政治・経済

協力 立命館大学法学部 田口 裕斗
 日時 8月19日(月) 10:00-12:00
 場所 可児市文化創造センター ala
 エンリッチコアメンバー担当者
 河井



SDGs No.



△参加生徒より▽
 ・プラスチックゴミ問題については世界で考えられている。捨てられたプラスチックごみははるばる私たちが体に入ってしまう。それについて今企業で色々取り組みが行われていることを初めて知った。自分もプラスチックごみを増やさないとか、なるべく使わないように心がけていきたいと思いました。



・身近にも社会問題に繋がる問題があることを学びました。世界規模で、プラスチックのゴミが問題になっていて、スターバックスでは、プラスチック製ストローの使用をやめ、紙のストローを使用する対策が始まっていることを知りました。一人一人がその問題解決に向けて意識を変え、行動を起こすことが必要だと感じました。そうしないと問題は悪化するばかりだと思います。

本校卒業生に学ぶ③
19 夢には捨て方・叶え方がある。

叶わぬ夢、と一度諦めたけど、サッカーコーチになりたくて、海外留学で思わぬ可能性を広げられました。当日はマインドマップで、自分の将来に向け一緒に考えてみませんか？

大学生の人生相談 # 海外留学
 # マインドマップ

協力 野澤周(岐阜大学)
 日時 8月18日(日) 10:00-12:00
 場所 可児市文化創造センター ala
 エンリッチコアメンバー担当者：
 岡田菜々子



SDGs No.



「自分が今掲げている夢は叶うのか。叶えるために今すべきことは何か？」本講座で自分の夢と真剣に向き合うことができた。前半は野口さんが自身の体験について語ってくれた。その時、自分が今考えている進路や夢は今後様々なきっかけで十分変わってしまう、という事に気づいた。自分の目標が変わることを恐れる人もいるとは思いますが、自分の中の変化を受け入れ、勇気も必要だと学んだ。後半は、参加者が個々に自身の夢や目標についてのマインドマップを書いた。内容に個人差はありつつも、一人一人が自分の目標について真剣に向き合い、またマインドマップを他の人に見てもらうことで新たな視点を見つかる事ができていた。この講座を通して、参加者一人一人の夢や目標に対する考え方に良い変化があったように思う。自分も、今の夢を叶えるための計画を立て、真剣に向き合っていきたい。

(コアメンバー担当者 井口沙也妃)



